

## 出穂は平年並み～やや早い予想！

**穂肥の時期は終わりを迎えています！まだの場合はすぐ穂肥！  
斑点米カメムシ類の発生多い！7/20頃まで草刈り徹底！**

7月10日現在の生育診断圃の生育は、草丈が長い～やや短い、茎数がやや多い～やや少ない、葉数が平年並み、葉色がやや濃い～平年並みの状況となっています。

幼穂長調査等から西おきたま管内の「はえぬき」「雪若丸」の出穂は8月1日頃から、「つや姫」の出穂は8月7日頃から始まるとみており、穂肥の施用時期は終盤となっています。まだ施肥していない場合は早急に施用しましょう。

また、7月2日に**斑点米カメムシ類注意報**が発出されました。畦畔や農道の草刈りを徹底して、生育密度を下げ、適期防除で被害ゼロを目指しましょう。

### 生育状況（7月10日現在、西置賜農業技術普及課生育診断圃）

#### 平坦部「はえぬき」の生育

項目	飯豊町		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	64.8	101	並
茎数(本/m <sup>2</sup> )	589	95	やや少ない
葉数(枚)	11.0	±0.0	並
葉色(SPAD)	46.6	+2.0	やや濃い

#### 「つや姫」の生育

項目	飯豊町		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	65.7	106	長い
茎数(本/m <sup>2</sup> )	592	105	やや多い
葉数(枚)	10.6	-0.1	並
葉色(SPAD)	42.5	+1.0	並

#### 「雪若丸」の生育

項目	飯豊町		概況 (指標値との比較)
	調査値	指標比・差	
草丈(cm)	59.5	97	やや短い
茎数(本/m <sup>2</sup> )	718	99	並
葉数(枚)	11.4	+0.3	並
葉色(SPAD)	46.4	+0.4	並

#### 1か月予報（7月4日 仙台管区气象台発表）

気温：7/6～7/12：高い見込み  
7/13～7/19：高い見込み  
7/20～8/2：平年並か高い見込み  
降水量：多い見込み  
日照時間：平年並か少ない見込み

#### ✪つや姫の穂肥診断（10葉期） 直ちに実施！

- 茎数 600 本/m<sup>2</sup>以下かつ葉色（SPAD）39 以下の場合→出穂 30 日前：N成分 1.5 kg/10 a
- 茎数 600～650 本/m<sup>2</sup>、または葉色（SPAD）39～41 の場合→出穂 30 日前：N成分 1.0 kg/10 a 以下
- 茎数 650 本/m<sup>2</sup>以上、または葉色（SPAD）41 以上  
→出穂 25 日前まで葉色が低下したら、N成分 1.0 kg/10 a。葉色が低下しない場合は追肥を行わない。

#### ✪雪若丸の穂肥診断（9.5葉期） 直ちに実施！

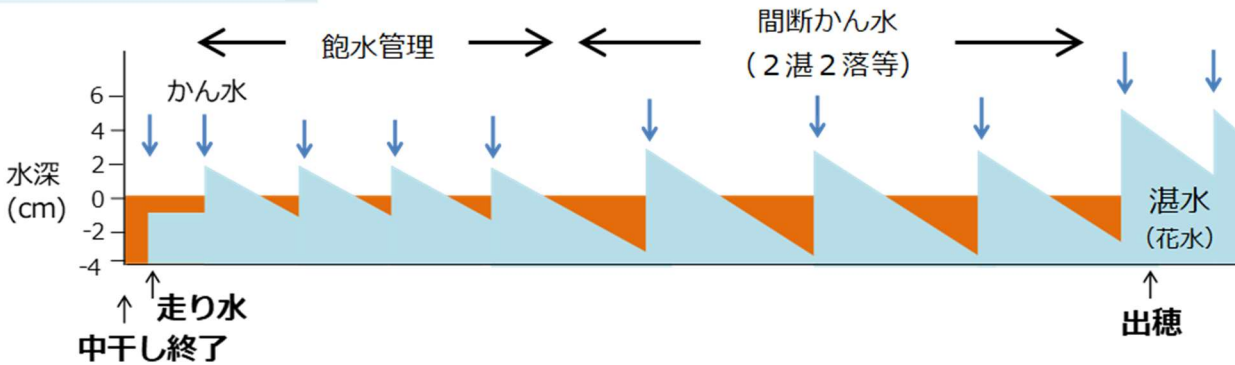
- 茎数 560～750 本/m<sup>2</sup>以下、葉色（SPAD）40～44 の場合→出穂 25 日前：N成分 1.5 kg/10 a
- 茎数 560 本/m<sup>2</sup>未満、葉色（SPAD）40 未満の場合→早めの穂肥、出穂 30～26 日前：N成分 1.5 kg/10 a
- 茎数 750 本以上、葉色（SPAD）44 以上の場合→出穂 25 日前、葉色の低下を確認しN成分 1.0～1.2 kg/10 a

**「遅れずに、生育診断に基づく適正量の穂肥を実施しましょう！」**

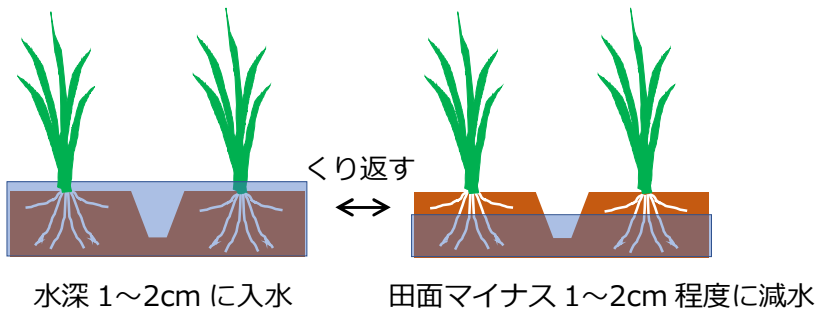
## 中干し終了後～出穂までは「飽水管理」「間断かん水」を徹底し、根の活力維持！

- 中干し終了直後は、飽水管理（土壌表面の足跡に水が残る程度）とし、徐々に間断かん水（2日湛水・2日落水）に切り替え、根の活力を維持します。
- 中干しが十分に行えなかったほ場では、間断かん水の落水期間をやや長めにしましょう。

### 水管理のイメージ



### 【飽水管理のイメージ】



地表（田面）に水がないが、くぼみには溜まっていて、土壌が常に湿潤状態に保たれている

## ◎ 水のためっぱなしは致命傷！ 土壌の還元が進み根へのダメージ！

## ◎ 水管理を効率的かつ容易にするため、作溝は必ず実施しましょう！

### いもち病に注意！

- 「葉いもち」の発生に要注意！感染好適日が続いています。  
**早期発見・早期防除を徹底しましょう。**
- 「穂いもち」対策の粒剤は出穂20～10日前に施用しましょう。



葉いもちの病斑

## 斑点米カメムシ類 注意報発令！ 発生量「多い」！

- 地域全体で斑点米カメムシ類の密度を減らすことが重要です。
- 7月20日頃まで畦畔・農道、雑草地の除草（草刈）を地域ぐるみでしっかり行いましょう。
- 水田内のイヌホタルイやノビエは、アカスジカスミカメの発生源になります。残草対策を徹底しましょう。  
※除草剤の使用基準を確認し、使用しましょう。



アカヒゲホリモドリカスミカメ



アカスジカスミカメ

## 農作業事故・熱中症に注意！

山形県農薬危害防止運動実施中！～農薬を使用する際は使用基準を再確認！その都度記帳！～